

単元名

「地方自治と住民」

挑戦問題
『住民の一員として地域のきれいな砂浜を守る方策を見つけ出そう』
本単元で育成する資質・能力

知識・技能、情報収集・判断、思考・表現、挑戦・探究、責任・使命、協力・協働、感謝・貢献

1 単元で目指す学ぶ姿

地方自治体の基礎的な考え方や仕組みについて理解し、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする将来の有権者としての自治意識を持って身近な問題の解決方法を自分の問題として考える姿

【評価方法】

授業中の教師観察およびワークシート、提出物等、生徒には、次の資質・能力のルーブリックのAとS基準を示し、意欲を喚起させ、単元の最後の自己評価に教師評価を加える。

<学ぶ姿を見取るための生徒と共有するルーブリック>

現行	次期	資質能力	評価	評価基準
知識	知識・技能	知識技能	S	地方自治の考え方、地方公共団体の政治のしくみ、地方財政のしくみ、住民の権利や義務と関連づけて説明することができる。
			A	地方自治の考え方、地方公共団体の政治のしくみ、地方財政のしくみなど学習した内容を説明することができる。
			B	地方自治の考え方、地方公共団体の政治のしくみ、地方財政のしくみなど学習内容の一部を説明することができる。
			C	地方自治の考え方、地方公共団体の政治のしくみ、地方財政のしくみなど学習内容を説明することができない。
技能	知識・技能	情報収集判断	S	問題解決の方策について調査し、必要な情報を2つ以上見付け出すことができる。
			A	問題解決の方策について調査し、必要な情報を1つ見付け出すことができる。
			B	問題解決の方策について調査し、いろいろな情報を収集することができる。
			C	問題解決の方策について調査することができない。
社会的な思考・表現	思考力・表現力・判断力	思考表現	S	学習内容を根拠として、問題解決の方策を具体的に3つ以上説明することができる。
			A	学習内容を根拠として、問題解決の方策を具体的に2つ説明することができる。
			B	学習内容を根拠として、問題解決の方策を具体的に1つ説明することができる。
			C	学習内容を根拠として、問題解決の方策を説明することができない。
		協力協働	S	発表や話し合いを通して、他の人の主張を生かしたり、取り入れたりして考えを深めることができる。
			A	発表や話し合いを通して、他の人の主張を生かしたり、取り入れたりすることができる。
			B	発表や話し合いを通して、他の人と協力しようと努力することができる。
			C	発表や話し合いを通して、他の人と協力することができない。
社会的事象への関心・意欲・態度	学びに向かう力・人間性	挑戦探究	S	挑戦問題を解決することで、そのほかの問題の解決方法も考えていきたいと思うことができる。
			A	挑戦問題を解決するために、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
			B	挑戦問題を解決するために学び続けようと努力することができる。
			C	挑戦問題の解決は無理だとあきらめている。
		責任使命	S	地域をよりよくしていくことを自分の責任・使命と考えて生きていきたいと考えることができる。
			A	地域をよりよくしていくことを、住民のひとりとしての責任・使命として考えることができる。
			B	地域の住民の一員としての責任を理解することができる。
			C	地域の住民の一員としての責任を理解することができていない。
		感謝貢献	S	地域や社会に感謝・貢献することで地域との絆を深めていきたいと思うことができる。
			A	地域や社会に感謝の気持ちを持ち、地域のボランティア活動などに参加したいと思うことができる。
			B	地域や社会の問題に関心を持つことができる。
			C	地域や社会の問題に関心をもつことができない。

2 単元について

(1) 生徒観

本学級の生徒は、教師の説明を熱心に聞き、発表にも積極的である。しかし、アンケートでは「社会の授業に興味がありますか」という質問に対して、36%の生徒が「いいえ」と答えた。その理由としては「覚えることが多い・地理は好きではない」などという答えであった。社会科を暗記するだけの教科ではなく、身近な問題解決に役立つ教科であることに気付かせたい。

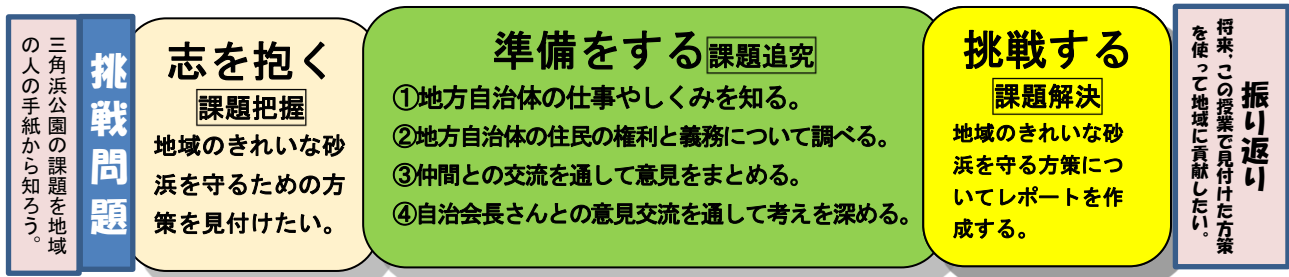
(2) 単元観

本単元は、学習指導要領(3)イ「民主政治と政治参加」を受けて設定されている。地方公共団体の政治のしくみについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治発展に寄与しようとする住民としての自治意識を育てることをねらいとしている。このため、身近な問題の解決方法を自分の問題として考えることを通して、民主政治の意義を個人と社会のかかわりを中心に、現代のものの見方や考え方の基礎を養い、自ら考えようとする態度を育てることができると考える。

(3) 指導観

指導に当たっては、次の5つのポイントで授業改善を進める。

① 挑戦問題から始まる課題発見・解決学習の流れを次のように設定する。



校区内にある三角浜公園では、夏に多くの海水浴客やバーベキュー客がやってきて、ゴミをそのままにしたり、落書き、夜に騒ぐなどの問題が起き、近くに住む地域の方が大変困っていた。本校の生徒も「せとうち海援隊」の取り組みを通して、年に数回、ボランティアを募って砂浜と公園の清掃活動に参加している。しかしこれでは、根本的な解決とはならないことは生徒自身も気づいている。このような身近な地域の問題を、自分の問題として課題追求し、問題解決の方法を思考する。

その過程の中で、地方自治の考え方、地方公共団体の政治のしくみ、財政のしくみを学び、地方自治発展に寄与する住民としての自治意識を育て、未来を創る資質・能力を育成できると考える。

② 振り返り時間(5分)の充実

効果的・効率的な地方自治のしくみや制度の知識習得に向け、ワークシートや視覚支援を行うことで振り返り時間(5分)を確保する。振り返りのなかで、「地域の砂浜を守るために」を考えることを通して、将来の主権者として必要なことなどの学習から生まれる更なる課題を引き出していく。

③ 自学自習への意欲を引き出す予習課題・復習課題の設定

「この問題は誰に頼むべき問題か?」「市長や議員になったら解決できるか?」など、自分の意見を持たせて授業の臨ませる予習・復習課題を設定した。

④ ワークシート・ノート指導の工夫

予習課題・復習課題と連動させたワークシートを作成し、ファイルに閉じさせる。

⑤ 評価の工夫

広南学園の資質・能力のSルーブリックを活用し、教科の目標に準拠した評価活動を行う。

3 単元の目標

地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治のしくみについて理解するとともに住民の権利や義務に関連させて、住民としての自治意識の基礎を育てる。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
自分たちが住む地域社会への関心をもち（感謝・貢献）、意欲的にその解決方法を考えようとしている（挑戦・探究）。また、住民の一人として、地方自治の発展に寄与しようとする自治意識の基礎（責任・使命）を育てている。	地方自治が直接民主制の手法を導入している理由について、具体的な事例や制度に基づいて考察している。また、地方が抱える課題や主権者としての政治参加のあり方について考察している。（思考・表現）	調査活動を通して、地方の政治について具体的に理解するとともに、発表や話し合いを通して考えを深めている（協力・協働）。また、地方自治の課題について、様々な資料を収集している（情報収集・判断）。	住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の政治のしくみ、地方財政のしくみなどについて理解している（知識・技能）。また、日本各地のまちづくりのようすについて概観し、理解を深める。

5 指導と評価の計画（全6時間）

時	学習内容	評 価					★資質・能力の評価 (評価方法)
		関	思	技	知	○評価規準 (評価方法)	
1	○三角浜公園の近くに住む人からの手紙を見る。 ・ゴミ拾いのボランティアでは根本的な解決方法にはならないことに気づかせる。						
	挑戦問題 「住民の一員として地域のきれいな砂浜を守る方策を見つけ出そう」 ・この単元のねらいを資質・能力ルーブリックで生徒と共有する。						
	めあて 「問題解決に必要な情報を調査するために何が必要か考える」						
	○手紙のから三角浜にある課題を読み取る。 ・課題の種類を分類する。 ○問題解決にはどんな方法があるか意見を出し合ってみよう。 ○言うだけで解決しないのはなぜでしょう。 ○解決する方策を見つけ出すには、どんなことを情報収集する必要がありますか？（課題発見）	◎				(関心・意欲・態度) ◎自分たちが住む地域社会への関心をもち、意欲的にその解決方法を考えようとしている。(振り返りの自己評価。教師観察、予習課題)	★【挑戦・探究】 (資質・能力ルーブリック)
課題の設定 (生徒のまとめ例) この問題の解決の方策を考える準備として、次の4つのことを調査する必要があると考える。 ①役所の仕事としくみ ②地方の政治のしくみ ③地方の財政のこと ④実際にこういった問題にかかわっている人の意見を聞く							
(予習課題) ・この問題はどこに頼むのが適切か自分の意見をまとめてくる。							

	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">情報収集</div>						
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて「この問題は誰に頼むべき問題か？」</div>						<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>(知識・理解)</p> <p>◎住民自治を基本とする地方自治の考え方や、地方公共団体の政治のしくみについて理解している。(振り返りの自己評価。ワークシート)</p> <p>★【知識・技能】 (資質・能力ルーブリック)</p> </div>
<p>○教科書にある「地方公共団体」についての説明を根拠に、意見を交流し合う。</p> <p>○地方自治の歩み、地方分権、地方公共団体の仕事についてワークシートにそって教師の説明を聞き、理解する。 呉市の役所のどこの窓口はこの問題は相談したらよいのだろう。資料から予想してみよう。</p> <p>○呉市の役所の組織図を手がかりに、自分の予想を交流し合う。</p> <p>○呉市の役所のしごとについてワークシートにそって教師の説明を聞き、理解する。</p> <p>○学習内容を根拠に、自分の意見を再度、まとめる。</p>						<p>◎</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(生徒のまとめ例)</p> <p>国と地方公共団体の役割分担が行われており、公園の問題は、地方公共団体の仕事と考えられることから、この問題は、地方公共団体である呉市に頼むべき問題だと考える。 呉市の組織図をみると、この問題は、〇〇課か〇〇課を窓口に要望することができることがわかった。</p> </div>							
<p>(予習課題)</p> <p>・問題解決のためにどこかに頼む以外に個人で10年後にみなさんに解決する方法はないか自分の意見をまとめてこよう。</p>							
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて「10年後にあなたの力で解決できる方法はないか？」</div>						<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>◎地方自治が直接民主制の手法を導入している理由について、具体的な事例や制度に基づいて考察している。(振り返りの自己評価。ワークシート)</p> <p>★【思考・表現】 (資質・能力ルーブリック)</p> </div>
<p>○教科書の「地方公共団体のしくみ」と呉市の役所の資料を手がかりに自分の意見を交流しあう。</p> <p>○地方自治体の政治のしくみについてワークシートにそって教師の説明を聞き、理解する。</p> <p>○学習内容を根拠に、自分の意見を再度、まとめる。</p>						<p>◎</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(生徒のまとめ例)</p> <p>市長には25歳以上で立候補し、当選すればできる可能性が高いが、地方議会の賛成がなければ困難であることがわかった。 地方議員も25歳以上で立候補でき、市長よりも少ない票でなれることが分かったが、どちらも立候補してたくさんの人の支持を得ないといけないので、簡単ではないことがわかった。</p> </div>							
<p>(予習課題)</p> <p>・市長や議員にならなければ、課題解決することはできないのだろうか？調査してくること。</p>							

4	<p>めあて「市長や議員にならずに、課題解決はできないのか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査をしてきた生徒に発表させる。 ○直接請求権についてワークシートにそって教師の説明を聞き、まとめる。 ○直接請求権を要求しても、簡単に認められないもっとも大きな理由はなんだろう。予想してみよう。 ○教科書の「地方財政」と呉市の予算資料を手がかりに、ワークシートにそって教師の説明を聞き、まとめる。 ○学習内容を根拠に、自分の意見を再度、まとめる。 			◎		<p>(技能)</p> <p>◎地方自治の課題について、直接請求権の情報を収集することができる。(振り返りの自己評価。ワークシート、発表)</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○地方が抱える課題や主権者としての政治参加のあり方について考察している。</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>
<p>(生徒のまとめ例) 市長や議員にならなくとも、直接請求権を使えば、条例の制定などを要求できることがわかった、ただし、有権者の50分の1の賛成を得る必要がある事が分かった。他にも、憲法で保証された住民投票という制度があることがわかった。 呉市では地方債を発行し、多くの借金を抱えているので、市民全体が必要性を納得できる請求や条例でなければ、簡単に通らないということがわかった。</p>							
<p>(予習課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決にむけて住民の意思を反映するための政治のしくみがあることは理解できたが、簡単ではないこともわかった。それでは、この問題解決に向けて一番必要なことは何なのか、自分の考えをまとめてくる。 							
5	<p>めあて「自治会長さんに学ぼう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治会長さんが実際にどんな取組みをして、どんな成果と課題があるか、話を聞く ○自治会長さんに質問をしたりしながら考えを深める。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">整理・分析</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">まとめ・表現</div> <ul style="list-style-type: none"> ○自治会長さんのお話を手がかりに、今回の挑戦問題の答えをレポートにまとめる。 <p>(復習課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポートを完成して提出すること 			◎		<p>(技能)</p> <p>◎自治会長の取組みについて具体的に理解するとともに、発表や話し合いを通して考えを深めている。(振り返りの自己評価、教師観察)</p>	<p>★【情報収集・判断】 (資質・能力ルーブリック)</p>

6	<div data-bbox="213 203 427 271" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 振り返り </div> <ul style="list-style-type: none"> • お互いのレポートを回覧し，相互に評価し合う。 • 資質・能力ルーブリックで単元の自己評価を行う。 • ワークシートを提出し教師の評価を受ける 		◎		<p>(思考・判断)</p> <p>◎お互いのレポートを相互評価することで，他の人の主張を生かしたり，取り入れたりして考えを深めることができる。(レポート・振り返りシート)</p>	<p>★【協力・協働】 単元の資質・能力の全ルーブリック</p>
---	---	--	---	--	--	--------------------------------------

6 本時の学習（1時間目／全5時間）

(1) 本時の目標

挑戦問題の解決を自分ごととして受け止め、解決に必要な準備として本単元での学習内容を見直し、単元の学習および単元で身に付ける資質・能力に意欲を持たせる。

(2) 学習の流れ

学習活動	指導上の留意点（・） 配慮を要する生徒への支援（◆） 予想される生徒の反応（「」）	評価規準 教科の指導事項（○） 資質・能力（★） （評価方法）
<p>1 課題意識を持つ。(3分) ○三角浜公園について地域の方の手紙を読む。</p> <p>○清掃をするだけで三角浜の問題は解決すると思いますか？</p> <p>2 挑戦問題を提示する。(2分)</p>	<p>・ゴミを捨てる心ない人がいなくなる限り問題は解決しない</p> <p>・夜の騒音や集団で集まるなどがあることを初めて知った。そんなのだったら無理</p>	
<p>挑戦問題 「住民の一員として地域のきれいな砂浜を守る方策を見つけ出そう」</p>		
<p>・この単元のねらいを資質・能力ループリックで生徒と共有する。</p> <p>3 本時のめあてを提示する。</p>	<p>・ワークシートの資質能力ループリックを示し、住民の一員としての「責任・使命」「感謝・貢献」の資質・能力を育てることを単元の中心的な狙いとして理解させる。</p>	
<p>めあて 「問題解決に必要な情報を調査するために何が必要か考える」</p>		
<p>○地域の方の手紙から三角浜の課題をまとめよう。</p> <p>・課題を分類する。(10分)</p> <p>○問題解決に必要な準備としてどんなことを調査(情報収集)する必要があるか話し合う。(15分)</p> <p>・どんな方法があるか意見を出し合ってみましょう。</p> <p>・言うだけで解決しないのはなぜでしょう</p> <p>・解決する方策を見つけ出すには、どんなことを情報収集する必要があると思いますか？</p> <p>4 みんなの意見をもとに問題解決へむけての課題をまとめる。(15分)</p>	<p>・地域の人や私たちでもできること。</p> <p>・地域の人や私たちではできないことに分類する。</p> <p><生徒の発言および切り返し発問例></p> <p>・役所に言う←役所のどこへいけばいいですか？</p> <p>・議員さんに頼む←どの議員さんですか？</p> <p>・総理大臣に頼む←なぜ総理大臣ですか？他の人はどう思いますか？</p> <p>・自分が市長になる←どうしたらなれる？</p> <p>・他にも重要なことがいろいろあるから←だれがその順序をつけるのだと思いますか？</p> <p>・お金がかかることは簡単にできないから←そのお金は誰のものですか？誰がその使い道をどのようにして決めているのでしょうか？</p> <p>・生徒の意見に対して切り返しや他の生徒へも意見を求める中で、自分達がこれからどんなことを学習していく必要があるか気づかせ、課題としてまとめる。</p>	<p>○（関心・意欲・態度）自分たちが住む地域社会への関心を持ち、意欲的にその解決方法を考えようとしている。(振り返りシートの自己評価・教師観察・予習課題)</p> <p>★挑戦・探究ループリック</p> <p>S 挑戦問題を解決することで、そのほかの問題の解決方法も考えていきたいと思うことができた。</p> <p>A 挑戦問題を解決するために、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。</p> <p>B 挑戦問題を解決するために学び続けようと努力することができる。</p> <p>C 挑戦問題の解決は無理だとあきらめている。</p>
<p>(生徒のまとめ例) この問題の解決の方策を考える準備として、次の4つのことを調査する必要があると考える。</p> <p>①どこに言えばいいのか。②どのような手続きを取ればいいのか。③その場所のしくみやお金のこと④実際にこういった問題にかかわっている人の意見を聞く。</p> <p>5 振り返りを行う。(5分)</p> <p>(予習課題)</p> <p>・この問題はどこに頼むのが適切か自分の意見をまとめてくる。</p>		